

いつもお世話になっております。ファクスお借りして恐縮です。ご発注よろしくお願いたします。  
書肆心水 FAX 03-6677-0682

# 時枝言語学入門 国語学への道

附 現代の国語学 ほか

時枝誠記 著

言語の本質は何か？ 時枝自身による時枝言語学入門

「言語過程説」を唱えた時枝誠記の学問的自伝

ソシュールを単に模倣した近代日本言語学を批判し、日本語に即した日本語研究として構築された「言語過程説」の由来、精神、方法、歴史。『国語学原論（正統）』、『国語学史』以降の時枝思想のエッセンス。近代型普遍化主義の迷妄を学問的に批判しうる特異なポジションにある日本言語学の意義を明らかにする。

## 言語過程説とは

●言語を要素の結合体としてでなく、表現過程そのものにおいて見る言語本質観による体系。  
●西欧近代に発達した要素論的言語構成観を日本語の実態に即した言語学から相対化する。

## 本書の構成

●時枝自身による学問的自伝『国語学への道』に加えて『現代の国語学』を併録。  
●『現代の国語学』の第一部は、言語過程説の理論が正しく理解されるために、明治以来の国語学の全体を叙述し、言語過程説をそこに対比的に位置づける。第二部は言語過程説に基づく時枝言語学の体系の全体像を示す。  
●さらに、岩波文庫版刊行中の『国語学原論（正統）』『国語学史』をのぞく、主要著作の序文類および目次などを附録し、その業績のアウトラインを俯瞰。

時枝誠記（ときえだ・もとき）

著『国語学史』『国語学原論』『国語学原論続篇』岩波文庫版販売中。

1900年生、1967年歿。国語学者。1925年東京帝国大学国文科卒業。京城帝国大学助教授（1927年）を経て1933年同大学教授。1943年東京帝国大学教授。同年文学博士。1961年定年退官し早稲田大学教授となる。言語過程説を提唱し、国語問題や国語教育にも力を入れた。

新刊  
注文取扱返条件付（清藤）

取次番線印

お名前

部

時枝言語学入門 国語学への道

附 現代の国語学 ほか

時枝誠記 著

ISBN978-4-906917-81-5 C0081

A5判上製 384頁 本体6900円＋税

FAX 03-6677-0682 でんわ 03-6677-0101  
http://www.shoshi-shinsui.com

書肆心水  
Shoshi Shinsui

7  
月  
中  
旬  
刊

ご注文は JRC へ 03-3294-2177

すべての取次への出荷が可能です。返品は長期にお受け致します。（了解者 JRC 後藤）